

水と緑と風薫る街  MINT CITY KOYO

高陽町商工会だより

発行:高陽町商工会

会長 水口 弘士
編集責任 広報委員会(委員長 加藤 宏之)

令和7年2月20日

本所

広島市安佐北区深川5-21-21
TEL: 842-0186 FAX: 845-0939
E-mail: koyo@hint.or.jp

支所

広島市安佐北区白木町大字秋山2391-4
TEL: 828-0703 FAX: 828-1764

発行

1月17日現在の会員数 1,138名

令和七年新春講演会・新年互礼会が一月十七日(金)に百八名の出席者の下、シェラトングランドホテル広島にて開催されました。

矢鋪理事の軽快な司会進行で、古今亭菊丸師匠の講演会がスタートしました。

菊丸師匠は、広島県呉市のご出身で崇徳高等学校をご卒業されました。その後、広島修道大学在学中の一九七五年十一月に二代目古今亭圓菊に入門、菊助と名乗られました。翌三月に広島修道大学商学部商業科をご卒業し、一九八〇年六月には二ツ目昇進「菊之助」と改名。更に一九九〇年三月には真打昇進。「菊丸」に改名されました。

その間、ラジオなどのメディアにも数多く出演し、二〇一一年度には、「文化庁芸術祭大衆芸

令和七年
新春講演会
新年互礼会
開催

能部門・優秀賞」を受賞されました。「明るく楽しく、おもしろい上品な古典落語」を得意としており、現在も演芸場を中心に活躍を続けておられます。

演目は「時そば」と「天狗の裁き」で、前者はそば屋を舞台にした滑稽な話で、そばをすすめる様子が面白おかしく表現されてプロの落語家の話芸に感激いたしました。後者は夢を見たかどうかをめぐる男のドタバタ劇がユーモラスに語られる話術にいつの間にか引き込まれました。落語家の話術を堪能することができました。

第二部は、松尾理事の司会により新年互礼会に移り、水口会長の挨拶に続き、来賓の国會議員ご挨拶の後、入会周年表彰では、六十周年が十二事業所、五十周年が十事業所、四十周年が八事業所、三十周年が十事業所、二十周年が六事業所と多くの事業所が受章されました。代表して六十周年表彰を受けられた佐々木電機商会の佐々木小百合様が水口会長から表彰状を授与された後、謝辞を述べられました。

宮田副会長の乾杯の音頭で宴がスタート。会員相互の交流も頻繁に行われ、山本副会長の中締めで盛会裏のうち、終宴となりました。

記事 総務委員会委員長 吉井 俊治

水と緑と風薫る街 M MINT CITY KOYO

令和六年
会員日帰りの親睦旅行「尾道」

十月六日（金）、秋晴れの気持ち良い日に、会員五十八名で尾道へ日帰り親睦旅行に行つてまいりました。一台のバスに分乗し一路尾道へ。車内では、普段話さない方とも交流を深めたり、秋の景色を眺めたりと、楽しい時間を過ごしました。



尾道に到着後には、美しい瀬戸内海の風景が見れる千光寺公園で記念撮影。皆さんと昼食をいただいた後は、尾道のレトロな町並みを散策し、今話題の美味しいスイーツやラーメンを楽しみました。今回の日帰り旅行を通して、会員間の親睦を深め、日頃の仕事のことも忘れモチベーションの向上につながりました。今後も、このような機会を通じて、より一層活気あふれる商工会にしていきましょう！会員の皆様、次回も日帰り親睦旅行のご参加をお待ちしております。

記事 広報委員会副委員長 葉畑 伸一

青年部報告

青年部部长 尾浜 康一

青年部家族レクリエーション開催

令和七年一月二十六日（日）に青年部家族レクリエーションとして、平田観光農園に行きました。

一月ということで寒さが心配されましたが、快晴ということもあり、比較的暖かく過ごせました。

レクリエーションには大人二十五名、子供十八名が参加しました。

平田観光農園では、バーベキューを行い、配られたチケットでハウスのいちご摘み、いちごのデザートなどを楽しみました。摘みだての新鮮なイチゴをその場で楽しんだり、カップにいちごがたくさん入れられるか挑戦したり、子供も大人も有意義な時間が過ごせました。



バーベキューでは肉を小分けにして用意してもらっていたので、各コンロで簡単に焼くことができ、部員たちの家族の笑顔をたくさん見ることができました。大人もアルコールなどの飲食を楽しんでいました。

部員の子供たちはすぐに仲良くなりみんなで鬼ごっこや端に残った雪で雪合戦をして遊んでいました。平田観光農園は牛などの動物に餌をやることもでき、小さなおこさんは動物との触れ合いも楽しめました。

いちごの高騰や地域のイベントが減少する中、バーベキューやいちご摘み、同年代の子供達との触れ合いは非日常を味わえるいい刺激となり、楽しい思い出になったと思います。

記事 青年部 阿羅田 郁

女性部報告

女性部部长 林 直美

第二十四回婚活パーティー開催

十二月八日（日）第二十四回婚活パーティーが商工会館にて開催されました。青年部と女性部が担当を受け持ち、会場と進行の準備をしました。会場は

手作りで温かいパーティーの雰囲気満載です。

今回の参加者は、男性十三名、女性十二名でした。少し緊張気味の参加者が、お昼過ぎから、集まりました。受付を済ませると、腕の良い青年部のカメラマンに顔写真を撮ってもらいます。楽しい声掛けで、素敵な笑顔の写真が撮れ、壁に貼りました。男女分かれて別々の部屋に入り、婚活パーティーのレクチャーをしました。その後、女性参加者の待つ会場に男性参加者が入り、ドキドキのご対面です。

女性部部长の林さんの明るい挨拶で会場も温まったところで、一人ずつお相手を変えて、全員と三分ずつのミニトークをしていきました。シャイな人、大人しめの人は大丈夫かなと心配しましたが、そんな心配は全く不要で、それぞれ、穏やかで、楽しい雰囲気の中、自己紹介やミニトークをしていきました。一周すると、会場のレイアウトを変え、室内でグランドゴルフを行いました。男女混合で四チームに分けて、豪華賞品（？）をゲットするべく、対決を始めました。

参加者の皆さんの最初は固かった表情も、すぐに、打ち解けて、笑顔いっぱいのお戦いになりました。勝つて喜び、負けて悔しがり、和気あいあいの中ゲームが終わりました。

次は、それぞれが、意中の人とフリートークタイムです。自分から声をかけて、一対一でトークをしました。少し勇気がいる為、スタッフが背中を押してあげないといけないかなと思っていましたが、大方の人達が話し始めて、参加者さん達の本気で参加してくれてる気持ち、私達にもよく伝わりました。話せていない人には、【運命の赤いリボン】を用意して、端と端を持つてもらい、同じリボンを握った人同士がトークをしました。何度か相手を変えて、フリートークが終わりました。うまく気持ちを伝えられたでしょうか。終わりに、【ときめきカード】に意中の人の名前を記入してもらい、集計です。

水と緑と風薫る街



MINT CITY KOYO

ドキドキの結果発表！なんと四組もカップルが誕生しました。

見事カップル成立した人には、二人で行くお食事券がプレゼントされました。初々しいほやほやのカップルを見て、私達もこれから、結婚までの良いお付き合いになるといいなと、心から応援したい気持ちでいっぱいになりました。今回残念だった参加者の皆さんも、この経験を次の出会いに生かしてもらえたらいいなと思いました。

かつて、昭和頃の暮らしには、今より深い近所付き合いや、お節介の文化が根付いていました。気の良いおばちゃん達が年頃の独身の人達を強力に後押ししてくれました。しかし、令和になり、核家族が進み、インターネットやコロナ感染等々が人と人の関わりを薄くしてしまいました。

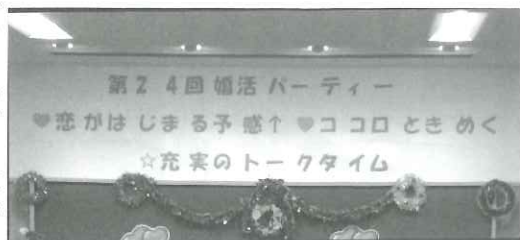
商工会の婚活事業を通じて、昭和の良き時代のおばちゃんたちのように、ちよっとお節介だけど、人と人を繋げ、地域を盛り上げる活動を女性部と青年部が協力してできると良いなと思いました。

記事 女性部副部長 佐々木 小百合

女性部二泊研修旅行

令和七年一月二十六日、二十七日に女性部一泊研修旅行に二十三名の参加者で実施しました。

一日目は岡山の倉敷美観地区でお昼ご飯からの散策、お買い物をしてホテルに向かいました。ホテルは全室オーシャンビューの素敵なお部屋で、夕日が瀬戸内海を輝かせていました。夜は全員で交流の時間を過ごしました。食事美味しく、お酒すすみ、歌ありゲームありで楽しく時間が過ぎ、最後はいつも



のように、ラストの歌と共にみんなで輪になり手を繋いで笑い合い、幸せな時間を過ごし一日目が終了しました。

二日目は赤穂市にある忠臣蔵の大石内蔵助をはじめ四十七義士を祀る大石神社と赤穂城跡地をガイドさんの説明を聞き

ながら歩いて歴史を学びました。知らない事を知るという事は、何歳になってもワクワクしました。

楽しい時間はあつという間に過ぎてしまいました。参加された皆さんは、沢山のお土産を持って我が家に無事に帰宅しました。二日間の研修旅行で、部員同士のコミュニケーションが図られ、これからの女性部活動の輪がまた大きくなりました。

記事 女性部部長 林 直美

工業部報告

工業部部長 永井拓也

工業部視察研修旅行

令和六年十月二十七日(日)～二十八日(月)にかけて、参加者十三名で工業部の視察研修旅行に行つて参りました。毎年研修旅行は、かかさず参加するのですが、今回は、公共交通機関ではなく、株式会社ユーエムエスさんの貸切バスで一泊二日の小倉研修旅行を実施しました。

初日は、ゼンリンミュージアム・小倉城・松本清張記念館の順番で視察しました。ゼンリンミュージアムでは、江戸時代に作成された地図が展示されていたのですが、深川や狩留家と言った地名が載っていたので歴史を感じました。知らない場所へ行くの



に、地図やナビゲーションを頼りに目的地に行くのですが、地図を作った方、制作に携わられた方、地図の奥深さに驚きました。

二日目は、株式会社安川電機・日

本製鉄株式会社九州製鉄所八幡地区の工場を視察しました。安川電機では約六百名の従業員が精密電気機器の製造に携わっており、特に外国人労働者の多さに驚きました。日本製鉄では、工場内がすごく暑くて、この環境で稼働を止めることなく鉄を作り続けておられ、日本を支える企業であると痛感しました。今回の研修旅行では事故やトラブルも無く、無事に終わることができました。

記事 工業部副部長 山本 伸一

工業部企業訪問

十二月六日(金) 上深川町にある、株式会社ゆめデリカさまへ、工業部員十一名・事務局二名で企業訪問をさせていただきました。

十二月に入りお忙しい中、貴重な時間を割いていただき、井上工場長様、森次長様より会社概要の説明を受け、時間的に製造は終了していましたが、工場内への入場は衛生管理の徹底を行い、深川第二工場を実際に見学させていただきました。

ゆめデリカさまは、広島県内に三つ、九州に一つの計四つの拠点で、ゆめタウン、ゆめマート、ユアーズなどに、『安心・安全・おいしさ』にこだわっ



水と緑と風薫る街 M MINT CITY KOYO

た総業を供給されており、二〇二〇年に深川第二工場を新設され、新技術を積極的に導入し、野菜加工、サラダ、和菓子、米飯などを製造されており、クリスマス、年末年始の繁忙期になると、二十四時間体制でフル稼働し提供されます。

この安佐北区でも身近なユアーズなどで見覚えのある商品を多数製造されており、新技術の設備など、森次長様の説明を受け、とても興味深く見学させていただきました。

企業訪問終了後は『ふっかん』にて、今年度及び次年度の事業についての会議を終え、訪問先のゆめデリカ・森次長様にもご参加いただき、水口会長、工業部員十三名、事務局一名にて、意見交換会・忘年会を開催し充実した時間を過ごすことができました。

次年度も企業訪問の事業は継続し、魅力的な訪問先の選定を行います。

商業部報告

記事 工業部部长 永井 拓也
商業部部長 小野 慎治

商業部視察研修旅行

八月二十五日から二十六日にかけて、福岡県へ視察研修旅行に行つて参りました。

初日はOTTOミュージアムを見学。地場産業の陶器メーカーとしてスタートし、ウォッシュレットの開発を経てグローバル企業へと成長した同社の歩みを知る機会となりました。次に訪れた「ハクハク博多の食と文化の博物館」と「蘭の森」でのお腹いっぱい視察は、「食」の魅力が地域の価値を高めることを十分に理解させられるものでした。

二日目は、北九州市にあるEVモータースジャパンを視察。EVバスの組立工場の見学や試乗は、新たなモビリティ社会の到来を感じさせ、そこに挑む社員の皆さんのエネルギーに満ちた姿が心に残りました。

した。

今回の視察研修では、地場産業や食文化という地域に根差した資源を活かすこと、一方、新たな成長分野へのチャレンジが、ともに持続可能な企業経営と地域経済に貢献することを実感しました。

この視察を通じて得た学びを基に、今後の商業部活動に役立てていきたいと考えています。

記事 商業部副部长 奥田 良彦

『第四回 高陽・白木こどもフェスタ』開催

十一月三日（日・祝）、フジグラン高陽ふれあい広場にて第四回『高陽・白木こどもフェスタ』を開催しました。

前日の豪雨で開催が危ぶまれましたが、予報によると二日の午後には雨が上がり、翌日は晴れとのことでしたので、中止の検討せず、準備にかかりました。このこどもフェスタは、地元の企業を知っていたくどともに、地域の将来を担う子ども達に仕事体験を通して、仕事をするうえで必要な知識や人との接し方について学んでもらい、働くことの意義を理解してもらうという事を目的として企画いたしました。

会場内では地元企業の企業や公共機関、団体による二十二の職場体験や紹介のブースを設け、約三千五百人の来場者で賑わいました。体験した子供達からは、実際にやってみて難しかった、とても勉強になった、また参加してみたいといった声が聞かれ、「地元の子ども達に働くことの意義を知って欲しい」「地元企業との交流を図る」という当イベント

トの目的は達成できたのではないかと感じています。

また、会場となったフジグラン高陽様はもちろん、当イベントの趣旨に賛同いただき、ボランティアとして参加していただいた地元金融機関や学生さんにも積極的に運営に関わっていただき、地域が一体となつてイベントを盛り上げることが出来ました。改めて、今回のフェスタに参加協力いただきました出展者の皆様、運営スタッフの方々にお礼を申し上げます。

来場、体験していただいた子供たちの中から、将来、このイベントの出店者、また運営側で関わってくれる方が現れてくれたら最上の喜びです。来年も楽しい企画を準備して皆様のお越しをお待ちしております。

記事 高陽・白木こどもフェスタ実行委員会 委員長 葉畑 伸一

商業部ジビエ加工施設視察

商業部は一月二十三日、「白木ジビエセンター」ももんしゃ」に視察に伺いました。「ももんしゃ」は、鹿や猪の捕獲から、精肉、加工、調理、販売までを行っております。



水と緑と風薫る街 MINT CITY KOYO

この度の視察では、屠殺施設と精肉の様子を見学させていただいた後、調理した鹿肉と猪肉のロッケや唐揚げ、塩コショウ焼きなどを試食させていただきました。

ジビエは熟成することであうま味が増すとのことで、丁寧に精肉、熟成された鹿肉と猪肉は、臭みがなく、牛肉や豚肉と遜色なくやわらかくとても美味しいお肉になっていました。

さらに鹿肉や猪肉は栄養価が高くヘルシーであると学ばせていただきました。地元の資源を生かし、普段の生活にジビエを取り入れるきっかけを与えてもらえました。

また、商業部として、飲食店でのメニュー化や、店頭販売など事業にも採用を検討できる視察となりました。

まちづくり委員会報告

まちづくり委員会委員長 松下 仁

Instagramセミナー

まちづくり委員会主催でInstagramセミナーを第一回十一月十二日二十名、第二回十二月三日二十二名で開催しました。

講師にはSNSコンサルタントの光田彩華さんをお呼びしました。

第一回目ではInstagramを始めるにあたっての注意点などを教えていただき、第二回目では参加者ご自身のスマートフォンでアカウントの作成を



行いました。

セミナーも参加者にわかりやすく、隣の席の参加者同士でワークを行うなど、わきあいあいの感じでした。後日のアンケートでも大変勉強になったなど参加者の会員さんも満足されていました。個別支援を希望されている方については、講師と直接やり取りしていただき支援を受けています。

まちづくり委員会では次年度も会員事業者のニーズに対応したセミナー開催を計画していきます。

記事 まちづくり委員会委員長 松下 仁

白木まちおこし委員会報告

白木まちおこし委員会委員長 石飛 太士

白米いきいきフェス二〇二四
(第四十六回白木公民館祭り) への出店

昨年十一月九日(土) 白木公民館主催の白米いきいきフェスにバザー部として参加し、商工会自慢の焼きそばを焼いてきました。今年は九月のフェス会議、開催一週間前の公民館一斉清掃にも出席しました。

例年のことながら、前日には女性部の皆さんに野菜切りのお手伝いをいただきました。言うまでもなく見事な手際で、予定を遙かに上回る早さで野菜切り終了となりました。イベント当日は、青年部・女性部・白木まちおこし委員会・事務局の皆で協力し、焼きそば三百三十七食見事完売いたしました。

今年の焼きそばは、物価高騰の為に販売価格設定を慎重に行いました。事務局に価格調査を依頼し、物の上り幅を見極め予算策定しました。その予算と販売価格に見合う内容になるよう、青年部さんと協



議し具材の追加や量の変更を行いました。こういうやり取りを実施し本番に臨むのは、楽しくてたまりません。

回を重ねるごとに思うのですが、やはり高陽町商工会は最高です。皆さんとても素晴らしいです。ヘラを持ち一心不乱に焼く人、野菜をパバッと切る人、寡黙にバック詰めする人、威勢の良い販売する人、道行くお客さんに気さくに声をかける人、またずつと喋ってる人。それこそ十人十色なのですが、それがちゃんと一つに上手くまとまり、高陽町商工会を作り上げている。こんな会員さんの作る焼きそばが売れないはずがない。その答えは、三百三十七食あつという間に完売という結果に如実に表されています。白木まちおこし委員会は、まだ単独で完結する事業はこれと言って行っておりません。当委員会は、各部各委員会さんの力をお借りして活動しております。それ故いつもお力をお借りしている女性部の皆さん、青年部の皆さんとの平素のお付き合いを大切にしたいと考えております。各部各委員会の事業に積極的に参加し、そして自らの開催事業に参加をいただく、共存共栄でしょうか、これは高陽町商工会自体の地域での在り方にも言える事だと思っています。

周囲に気を配り、己の利益だけでなく、喜びを共有出来るように計らい、感謝の気持ち忘れずに、そして目指す目標の為にまい進する。そんな活動が出来る委員会でありたいと考えます。当該地域にお住いの皆さんも、うちの地域の商工会ってこんな考え方で活動しているんだよって自



水と緑と風薫る街



MINT CITY KOYO

慢してもらえよう
な商工会で在りたい
です。

最後に、本イベン
トにお力添えをいた
だいた各部会の会
員さんをはじめ、商
工会事務局の皆さん
には、ご理解とご協
力本当にありがとうございます
ございました。こう
やって皆さんと共に

事業を成し遂げる喜びを味わえた事を、大変嬉しく
思います。また次回も、皆さんと一緒に、ここ白木
町で笑顔いっぱい事業を開催できたらと思います。

記事 白木まちおこし委員会委員長 石飛 太士

第三回高陽町商工会小豆セミナー開催

令和七年一月三〇日(木)、当商工会館において、
白木産小豆を使って、ビジネスチャンスを広げよう
というスローガンの元、「白木産小豆セミナー」を
開催いたしました。

今回は前後半二部構成で行いました。前半の最初
に丁A広島市様に広島県産小豆講座を、続いて安田
女子大学生の小豆をテーマにした卒業研究論文を古
山教授にご説明いただき、前半最後には、県立高陽
高等学校の石田先生と二年生の生徒さん四名による
地元産の小豆を使った商品開発についての発表をし
ていただきました。

安田女子大学生の論文では、青年や女性の小豆に
寄せる印象及びそこからニーズ開拓についてとい
う難しそうなテーマの話でした。小豆の印象を調査
しその結果をデータ化することで、小豆に対する未
開拓ニーズ領域を設定し、その少数ニーズを基に、
リバース戦略を実施し、従来イメージと真逆の商品



を実際に試作試食して、最終的に小豆カレーパンを
考案されたそうです。これは、食した人にしか分か
らない、今までにない触感と風味、アイディアの結
晶でした。素人考えですぐにでも商品化できそう
な完成された素晴らしい物でした。私では想像もつ
かない程の発想と緻密なデータ分析は、さすが安田
女子大生といった感じを受けました。古山教授には、
セミナーの総評もいただいております。

次に、高陽高等学校の生徒四名の皆さんによる
研究発表では、学内の研究活動の一環で、地域を盛
り上げるグループ活動という授業があり、今回は地
元産の小豆を使った商品開発をテーマにしたもので
した。小豆が安佐北区の特産物であることを知って
いるかという直球なアンケートを取り、その知名度
の圧倒的な低さを何とかして解消し盛り上げよう
という思いから、どんなメニューであれば小豆の魅力
が伝えられ、安佐北区を盛り上げられるかという視
点に立っての小豆レシピを紹介されました。この
テーマでの探究活動は、二年生時にのみ行われるそ
うで、来年も次の二年生がこのテーマの続編を継続
して研究されるそうで、また来年の当セミナーでの
発表が期待される所です。私は小豆をテーマに、県
内各高校で研究発表してもらいような小豆甲子園的
な取組みを当商工会で
実施するのも面白い
なと思いました。

後半は、昨年に引続
きフードコーディネー
ターの稲葉先生に監修
していただいた、当会
員さんによる新商品の
開発のお話とその調
理法と試食会でした。
シンプルフードさん
の【発酵あんこの鳥焼



き肉】のタレの実践調
理の際は、八丁味噌と
大量のニンニク、大量
の唐辛子のコラボレ
ーションを参加者の方
が食い入るようになって
おられ、肉よりもタレの
販売とかタレの転用法
についてなどの質問が
飛び交い、終始盛り上
がっていました。

また、真ごころ食材

和(なごみ)さんの【小
豆のお菓子】は、絶妙なカリッと感があり、且つレ
モンピールのほろ苦さがアクセントになっており、
やめられない止まらない癖になるお菓子でした。ど
ちらの商品もほぼ完成形で、セミナーにおける商品
開発成果の第一弾となるのはもう間近です。

本セミナーは、ゼロベースから白木産小豆の周知
を図り、新たな商品開発等のビジネスチャンスの拡
大をテーマに開催したわけですが、とても意義のあ
るセミナーになったと実感しています。何もなかつ
た白木町から新たな特産物が生まれ、そして小豆を
きっかけにビジネスに展開していく、そんな夢を感
じました。

しかし、これからの課題が無いわけではありませ
ん。小豆自体は、北海道産大納言小豆に負けないく
らいの品質と粒の大きさ、美味さがあります。とは
言え小豆の需要と供給のバランス、生産者がまだま
だ足りないという現実。しっかりと小豆が根付いて
いくには、これら課題が山積しています。商工会に
出来る事を模索しながら、広島県産・白木産小豆を
地域の特産物としてブランディングし、何もなく
た白木町を、小豆で有名な白木町へと進化させてい
けたらと考えています。



水と緑と風薫る街 MINT CITY KOYO

終わりに、本セミナー開催にご協力いただいた、JA広島市様、安田女子大学様、県立高陽高等学校様、各関係機関の皆様、報道関係者の皆様、また商工会事務局の皆様、大変ありがとうございました。とても素晴らしい経験をさせていただきました。是非とも、来年以降もこの白木産小豆をどんどん推していただいて、『小豆のまち、しらき町』が早々に現実となるよう、私たちも共に取り組めたらと思います。

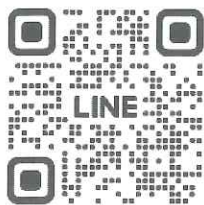
記事 白木まちおこし委員会委員長 石飛 太士

広報委員会報告 広報委員会委員長 加藤宏之

LINE 商工会公式アカウントについて

広報委員会では、商工会LINE公式アカウントの友達登録を推進しております。

LINE公式アカウントにて会員事業所の皆様に国・県・市の施策、補助金や経営に役立つセミナー・商談会などのイベント情報をタイムリーに配信いたします。



また、商工会で実施している各部会事業・青年部・女性部活動などの情報も発信していく予定です。

このLINEには、まだまだ他にも活用方法があるようです。広報委員会で勉強会を実施して、皆様の商工業の活性化に繋がられるようにしていきたいです。

是非、友だち登録をしていただき、日々の経営に役立つ情報をご活用ください。

登録はQRコードをスマートフォンで読み取って簡単に手続きできます。

記事 広報委員会委員長 加藤 宏之

事務局報告

令和六年度 集団健康診断を実施

令和六年十月二十二日（火）、高陽町商工会館においてメディックス広島による毎年恒例の商工会事業所・従業員を対象とした「集団健康診断」を実施しました。今年度は六十九事業所、申込者数二百六十五名の方に集団検診を受診して頂きました。

労働安全衛生法では、健康の保持増進のための措置として、事業者・従業員に対して医師による健康診断を実施する義務を課しています。従業員を雇用する事業者は、一年に一回の受診を義務づけており、健康診断の結果に基づき従業員の健康を保持するために必要な措置について、医師の意見を聴取し必要がある時は、就業場所の変更、作業の転換等の措置を講じなければなりません。

当商工会館での集団検診は、会員事業所、従業員の皆様の利用に当たっての利便性と健診に要する時間の短縮等を考慮し、皆様に役立てていただけるようにと始まった事業です。

午前九時から午後三時三十分まで予定されており、利用した健診は、午前八時三十分からスタートし、利用いただきました会員事業所のご協力により、午前・午後ともスムーズに行う事が出来ました。

また、商工貯蓄共済にご加入いただいている方には助成金制度もありますので、今後も多くの方の会員事業所の皆様に集団検診をご利用



用いただきますようお願い申し上げます。

記事 事務局 原田 光太郎

事業計画策定セミナー開催

令和七年一月十四日（火）、二十一日（火）の二日間のコースで「事業計画策定セミナー」を高陽町商工会館にて開催しました。

セミナーには有限会社ウェーブ経営コンサルティングの藤田悠久雄氏を招聘し、十一人の参加者が創業に向けての基礎知識や経営革新について学び、事業計画を明確にされました。

一日目は事業を行っていく上での心構えや基礎知識、事業アイデア創出の方法について学びました。また、環境分析による事業アイデアの創出をする演習もありました。

二日目は売上高を確保する方法や事業概要の確立、販売計画の立て方、ビジネスプラン作成の方法について学びました。

参加者からは、「新規事業に役立てたい」「もっと早く学びたかった。」「またセミナーを開催してほしい。」「事業を拡大していく上での必要な知識を学ぶことができた。」「との感想がありました。」

最後に、藤田先生から講評や激励があり、セミナーは終了しました。

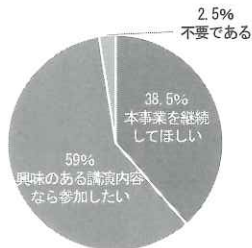
記事 事務局 原田 光太郎



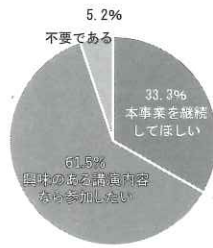
水と緑と風薫る街 MINT CITY KOYO

「会員の皆様のお声をお聞かせください」 アンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。
皆様から貴重なご意見を多数お寄せいただき、心より感謝申し上げます。
集計結果は下記の通りとなりました。アンケート結果は、今後の商工会活動の参考にさせていただきます。

①新春講演会&新年互例会について
2024年度 (会場: シェラトングランドホテル広島)
ゲスト: 達川光男 様



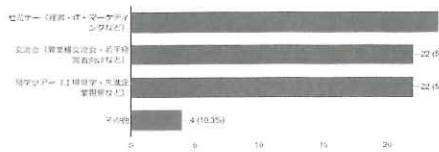
②夏季講演会&会員交流会について
2024年度 (会場: 高陽町商工会館)
ゲスト: 室山哲也 様



③会員日帰り旅行について
2024年度 (先行: 尾道をめぐる旅)



④研修事業について
今後参加したい研修事業はありますか? (複数回答可)



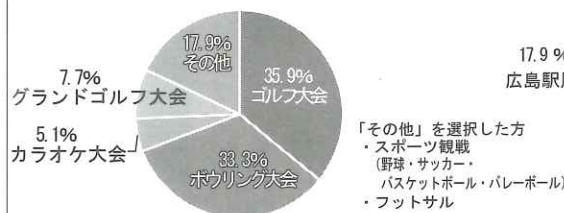
「その他」を選択した方
・マーケティング関係
・事業継承、相続、終活セミナー
・NISAやiDeCoなどのセミナー
・LINEマーケティング、ステップ、エルメッセージの使い方講習
・加工食品の製造方法講習 (保存・殺菌)

⑤研修事業について
今後参加したい研修事業はありますか? (複数回答可)



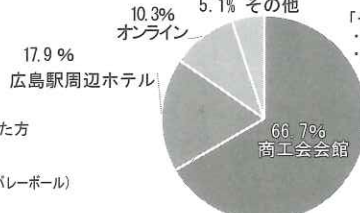
「その他」を選択した方
・現在あるInstagramのセミナーをもっと続けて頂きたいです。
・安全、防災など危機管理

⑥今後、参加したい親睦事業はありますか?



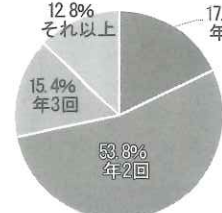
「その他」を選択した方
・スポーツ観戦 (野球・サッカー・バスケットボール・バレーボール)
・フットサル

⑦事業希望場所などについてお尋ねします。

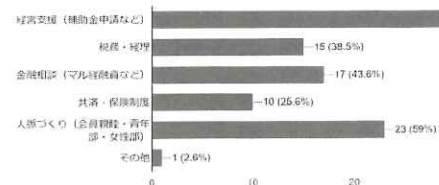


「その他」を選択した方
・事業内容により臨機応変に
・紙屋町周辺

⑧事業開催の頻度についてお尋ねします。



⑨商工会に求めるを尋ねます。



「その他」を選択した方
・著名人による講習会

⑩商工会からの広報希望媒体についてお尋ねします。



「その他」を選択した方
・PR効果が高いのはInstagram

⑪その他、ご意見・ご要望があればご記入ください。

- ・親睦は一部の人達しかしないような、目的が偏ることはやらないで欲しい。
- ・経営改善や助成金の申請など大変お世話になっております。創業当時はセミナーや講習会などに参加していました。
- ・たくさんのご支援の成果もあって、おかげさまで忙しくして、なかなか参加できずに申し訳ありません。

- ・紙媒体の経費を削減して、商工会費を少しでも下げてほしいです。何度も同じ冊子が入っていて、そこも削減できるかと思います。
- ・経営が苦しいので、補助金申請や経営アドバイスをお願いしたいです!
- ・いつも貴重な講演のお知らせや、資料の作成お疲れ様です。

ご入会ありがとうございます。おかげ様で新しい仲間が増えました!!
新入会員紹介 (入会期間 6年6月21日~7年1月17日)

事業所名	代表者氏名	地区名	業種
インテリア鶴田	竹田 直美	落合東	その他不動産賃貸業
	鶴田慎一郎	口 田	内装工事業
アイグリーン(株)	西田 大司	狩小川	給排水・衛生設備工事業
マッサージあんま処かどや	池田 裕也	深 川	その他の土木建築サービス業
(株)フォレスト	加藤 辰夫	倉 掛	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師
Miki	林 邦博	口田東	給排水・衛生設備工事業
Namina	沖田 幹雄	深 川	一般管工事業
池本ガラス表具店	森國 奈巳	狩小川	リラクゼーション業 (手技をもちいるもの)
宏栄急送	池本 次男	落 合	ガラス工事業
鉄板焼お好み焼 GEZI	伊藤 寿恵	狩小川	貨物軽自動車運送業
SUN flower ドックススクール	西田 英範	口 田	経営コンサルタント業
	池原 猛	落合東	お好み焼き・焼きそば・たこ焼店
	中井 真己	落合東	他に分類されないその他の生活関連サービス

事業所名	代表者氏名	地区名	業種
川本工業	川本 健司	口 田	はつり・型枠解体業
合同会社大樟	西村 絵里	三 田	お好み焼き・焼きそば・たこ焼店/解体業
お好み焼き きたちやん	北真ゆかり	狩小川	お好み焼き・焼きそば・たこ焼店
	西村 勇希	落合東	他に分類されない飲食店
堅磐エンジニアサービス	澤田 伸二	狩小川	機械器具設置工事業
深川学区まちづくり協議会	福岡 壽	深川	他に分類されない非営利的団体
(株)リープカンパニー	藤本 悠斗	地区外	ゴルフ練習場
アスピー(株)	松尾 賢治	口田東	塗装工事業
wedge worxs	沖原 成人	真 亀	芸術家業
美容室 NeCO.	横田 真士	落 合	美容業
やまぼうし	迫 美都子	狩小川	そば・うどん店
(株)シエル	田村 一紀	落合東	その他児童福祉業
松翠園	原田 雅樹	倉掛	造園工事業